

2020年度生 一次 入学試験問題用紙(国語)

一 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。
 道が**a**つづら折りになって、いよいよ天城峠に近づいたと思う頃、雨脚が杉の密林を白く染めながら、すさまじい早さで麓から私を追って来た。

私は二十歳、高等学校の制帽をかぶり、紺飛白の着物に袴をはき、学生カバンを肩に**①**かけていた。一人伊豆の旅に出てから四日目のことだった。修善寺温泉に一夜泊まり、湯ヶ島温泉に二夜泊まり、そして朴齒の高下駄で天城を登って来たのだった。重なり合った山々や原生林や深いケイコク④の秋に見惚れながらも、私は一つの期待に胸をときめかして道を急いでいるのだった。そのうちに大粒の雨が私を打ち始めた。折れ曲がった急な坂道を駆け登った。ようやく峠の北口の茶屋に辿りついてほっとすると同時に、私はその入り口で立ちすくんでしまった。余りに期待がみごとに的中したからである。

突っ立っている私を見た踊子が直ぐに自分の座蒲団を外して、裏返しに傍へ置いた。「ええ……」とだけ言って、私はその上に腰を下ろした。坂道を走った息切れと驚きとで、「ありがとう」という言葉が咽にひっかかって出なかったのだ。

踊子と間近に向かい合ったので、私はあわてて袂から煙草を取り出した。踊子がまた連れの女の前の煙草盆を引き寄せて私に近くしてくれた。**4** やっぱり私は黙っていた。

踊子は十七くらいに見えた。私には分からない古風の不思議な形に大きく髪を**⑥**ユツていた。それが卵形の凛々しい顔を非常に小さく見せながらも、美しく調和していた。髪を豊かにコチヨウして描いた、稗史的な娘のような感じだった。踊子の連れは四十代の女が一人、若い女が二人、ほかに長岡温泉の印半纏を着た二十五六の男がいた。

私はそれまでにこの踊子たちを二度見ているのだった。最初は私が湯ヶ島へ来る途中、修善寺へ行く彼女たちと湯川橋の近くで出会った。その時は若い女が三人だったが、踊子はタイコを提げていた。私は振り返り振り返り眺めて、**5** 旅情が自分の身についたと思った。それから、湯ヶ島の二日目の夜、宿屋へ流して来た。踊子が玄関の板敷で踊るのを、私は梯子段の途中に腰を下ろして一心に見ていた。――あの日が修善寺で今夜が湯ヶ島なら、明日は天城を南に越えて湯ヶ島温泉へ行くのだろう。天城七里の山道できつと追いつけるだろう。そう空想して道を急いで来たのだ。だが、雨宿りの茶屋でびったり落ち合ったものだから、私はどぎまぎしてしまったのだ。

※稗史的な 昔の小説に出てくるような。 ※流して 芸人・タクシーなどが客を求めて移り動いて。

『伊豆の踊子』

問一 二重傍線部①～⑧のカタカナは漢字に直し、漢字は読みを答えなさい。

問二 波線部 a 「つづら折り」 b 「一心に」の語句の意味を後からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

- a 「つづら折り」
 ア 一回だけ直角に曲がった坂道 イ 何回もくねくねと曲がった坂道 ウ ゆるやかに曲がった坂道
 エ まっすぐに続く坂道
 b 「一心に」
 ア ぼんやりと イ 新たな思いで ウ 集中して エ 無意識に

問三 傍線部1で用いられている表現技法を、一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 体言止め イ 倒置法 ウ 擬人法 エ 直喩法

問四 傍線部2「一つの期待」を具体的に描いた、一続きの二文を抜き出し、その初めと終わりの五字を答えなさい。
 句読点を含む。

問五 傍線部3「私はその入り口でたちすくんでしまった」にあてはまる心情を本文中より二字で抜き出ささい。

問六 傍線部4「やっぱり私は黙っていた」とあるが、このときの「私」の心情を次から一つ選び、記号で答えなさい。

- い。
 ア 踊子の美しさに魅せられている。 イ 踊子に話しかけることができずに落ち込んでいる。
 ウ 踊子の優しさに感謝している。 エ 恋しい踊子を前に戸惑っている。

問七 傍線部5「旅情が自分の身についた」とは、どういうことか。次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 旅で偶然出会った踊子に恋心を抱いたということ。

イ 寂しい一人旅だったのに、旅芸人と道連れになり楽しくなったということ。

ウ 不慣れた一人旅にも慣れ、周りを観察する余裕が出てきたということ。

エ 旅先では、見るものすべてに興味がわいてくるということ。

問八 この小説『伊豆の踊子』の作者を次から選び、記号で答えなさい。

ア 夏目漱石 イ 志賀直哉 ウ 川端康成 エ 菊池寛

二

次の傍線部のカタカナは漢字に直し、漢字は読みを答えなさい。

① 勇気をフルう。② 一年前から作戦をネる。③ 難民をキュウサイする。④ 有害物質のカクサンを防ぐ。

⑤ 敵のタイロを断つ。⑥ 直ちに出発しよう。⑦ 不足した食料を補う。⑧ 類いまれな才能だ。

⑨ この村では養蚕が盛んだ。⑩ 会長に推挙する。

三

次の四字熟語の読みを答え、その意味を後からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

① 諸行無常 ② 暗中模索 ③ 大同小異 ④ 我田引水 ⑤ 五里霧中 ⑥ 四面楚歌 ⑦ 馬耳東風

⑧ 夏炉冬扇

意味 ア 敵に囲まれて孤立した状態。イ 自分の都合のよいように行動すること。

ウ すべてのものは、常に変化していくものだということ。エ 手がかりのないまま色々試みることに。

オ 見通しや方針が全く立たないこと。カ 人の意見や批判を聞き流すこと。

キ 時節に合わない無用なもの。ク 本質的には同じであること。

四

次の傍線部の敬語の種類をそれぞれ選び、記号で答えなさい。同じ記号を用いてよい。

① 兄はもう帰りました。② 山下先生にご相談いたします。

③ あなたがおっしゃることは、よく分かりました。④ ただ今、お料理をお持ちいたします。

ア 尊敬語 イ 謙譲語 ウ 丁寧語

五

次の作品の作者を、後からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

① 『おくの細道』 ② 『東海道中膝栗毛』 ③ 『おらが春』 ④ 『新花摘』 ⑤ 『赤光』 ⑥ 『みだれ髪』

ア 与謝野晶子 イ 斎藤茂吉 ウ 小林一茶 エ 松尾芭蕉 オ 十返舎一九 カ 与謝蕪村

八女筑後看護専門学校・准看護科

2020 年度生 一般入学試験（一次）
（作文）

試験時間 9：20～10：10（50分）

テーマ：「 人間関係において心がけていること 」

600～800 字以内で述べなさい。

准看護科社会人入学試験作文テーマ（過去3年分）

平成30年度生	『 私がこれまでの人生で大切にしてきたこと 』	600～800字以内で述べなさい。
平成31年度生	『 あなたのイメージする看護とは 』	600～800字以内で述べなさい。
2020年度生	『 人間関係において心がけていること 』	600～800字以内で述べなさい。

八女筑後看護専門学校 准看護科